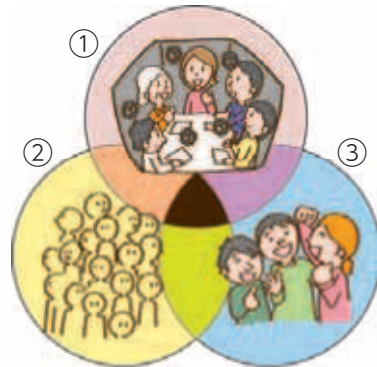


一人一人ができること

(蒲島県知事の声明より一部抜粋)

三密を避けましょう

新型コロナウイルス感染症への対策として、クラスター（集団）の発生を防止することが重要です。3つの条件が重なる場所は、多くの人が感染するクラスター（集団）が発生するリスクが高くなります。



- ①換気の悪い密閉空間
- ②多数が集まる密集場所
- ③間近で会話や発声をする密接場面は避けるように工夫しましょう。屋外であっても密集・密接には要注意です。

小まめな手洗い

ドアノブや手すりなどを触ることで、手にウイルスが付着している可能性があります。石けんやアルコール消毒液などで手洗いを小まめに行いましょう。特に外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などは必ず行いましょう。



手のひらだけでなく、手の甲や指先、爪の間、指の間、手首と隅々まで洗いましょう。洗い終わったら清潔なタオルなどでよく拭き取り乾燥させましょう。

人との接触 8 割削減

感染を予防するためには、感染の温床になる部分、人との接触を避けることが有効です。特に「不要不急の外出を避ける」、「市街地などへの外出を避ける」などを徹底することでリスクを最小限に抑えることができます。



「売り切れるかも」と人が多く集まる小売店に急いでいく必要はありません。小売店などは通常通り営業していますので、冷静に対応し、日用品の買い占めはしないようにしましょう。

一人一人の行動で
ウイルスの体内潜伏期間は1〜14日間と言われています。も

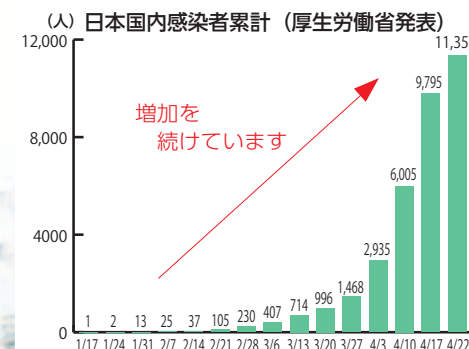
感染していながら、「無自覚のうち」に感染を広めている可能性がある。これがこの感染症の怖い特徴です。現在、感染しているかどうかはわかるPCR検査については医師の判断で行うため、検査まで時間がかかるのが現状です。

主に、感染者の咳やくしゃみなどと一緒に空気中に放たれたウイルスを健康な人が口や鼻から吸い込んでしまう「飛沫感染」。そして、感染者の咳やくしゃみを手で押さえ、そのままドアノブなどに触れ、そ

感染経路について

させ、亡くなる場合もあります。4月現在ワクチン、抗ウイルス薬は開発されていません。令和元年に中国で発生し、3月11日にはWHO（世界保健機関）が世界的大流行（パンデミック）を宣言しました。4月23日現在、感染者は、全世界で256万人以上、日本全国でも1万人を超えています。また、大津町では確認されていないものの県内では44人の感染が確認されており、予断を許さない状況です。

4月16日。新型コロナウイルス感染症対策の特別措置法に基づく「緊急事態宣言」の対象地域を5月6日までの期間、全国に拡大することになりました（4月23日現在）。この日は、熊本地震の本震と同じ日。経験した私たちにとって更に大きな意味を持つ日になりました。身近に迫る危機から大切な人を守るために、一緒に勉強しましょう。



新型コロナウイルス
表面のスパイク状の突起・「コロナ（冠）」が名前の由来。直径は約50〜200nmの大きさ。令和元年11月に中国で発見されたものが新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）と呼ばれています。

熊本県内帰国者・接触者相談センター(菊池保健所)
午前9時〜午後7時(土・日・祝日も可)※時間外については転送により対応します。
☎0968(25)4138

厚生労働省 電話相談窓口
午前9時〜午後9時(土日・祝日も可)
☎0120-565653

次のページからは町の取り組みなどを紹介します。